

秋田県知事 佐竹 敬久 様  
JA 秋田中央会 小松忠彦 様  
秋田県内 各 JA 組合長 様

## 令和8年(2026年)の種粃供給に「あきたこまち」の再開を求める緊急申し入れ

立春を過ぎ、稲の播種が目前に迫っています。私たちは、従来品種の「あきたこまち」を食べ続けたい、つくり続けたいという声を受けて、「あきたこまちR」の導入・全面切替えに反対してきました。昨年秋から、インターネット等で「『あきたこまちR』は食べたくありません」とする署名への賛同を募ったところ、全国から7000筆以上の署名とメッセージが集まり、昨年暮れに秋田県に提出したところです。こうした署名は「あきたこまち」の復活を求めるものであり、これは氷山の一角です。

カドミウム汚染低減に対する根本的な対策が必要であることは論を俟ちません。しかしながら、新開発品種「あきたこまちR」には多くの問題が指摘されています。

また、消費者の選択できるように、品種群設定を撤回するのは緊急の課題です。そこで、次の緊急提案を申し入れます。

- 一、県は、令和8年(2026年)の一般種子採種事業では、従来品種「あきたこまち」の供給も行う。そのための原種の提供を注文・要望に応じて行うこと。
- 一、JA秋田中央及び各JAは、従来品種「あきたこまち」の令和8年向け一般種子採種の実施を明らかにしたうえで、各稲作農家から令和8年向け従来品種「あきたこまち」の種子の注文・要望を早急にとりまとめ、令和8年の一般種子採種計画に反映させた採種事業を実施すること。

秋田の地で40年以上続いた「あきたこまち」がこれからも持続することを願ってやみません。よろしくおねがいたします。

2025年 2月 26日

2025年「あきたこまちR」問題全国ネットワーク

連絡先

〒180-0003 東京都武蔵野市吉祥寺南町 5-11-2  
メダカのがっこう内 OKシードプロジェクト  
2025年「あきたこまちR」問題全国ネットワーク

問合せ先 komachi@gmail.com